



防災士よこはま

日本防災士会横浜支部通信

第41号 NO. 041

日本防災士会横浜支部
支部長 今井 淳
事務局長 早乙女善彦

発行日 2019年4月28日

防災士会員のスキルアップ研修会開催

令和元年5月11日(土)に横浜防災市民センターにおいて防災・減災活動体験フェア かながわ・よこはま防災ギャザリング2019が開催されます。日本防災士会横浜支部でも家具転倒防止器具の展示・体験ブースを設置します。そこで専門家をお招きして各種家具転倒器具等についてのスキルアップ研修会を下記により実施いたしましたのでご報告いたします。

日時:平成31年4月28日(日曜日) 10:00~12:00

会場:横浜市民防災センター 横浜市神奈川区沢渡4-7

講師:畠山広明氏(不二ラテックス株室長)、岸本隆久氏(帝人フロンティア主幹)

出席者:20名(横浜支部会員14名、葉山支部会員6名)

研修会の内容について

従来の家具転倒防止器具に加えて、最新の器具についても防災士としての知識を得ることは講習会や防災訓練等の場所での説明などに役立つものと期待しております。

- ・地震大国日本 我が国は地震の恐怖に晒されている。・迫り来る南海トラフ地震と首都直下地震。
- ・長周期地震と短周期地震。・事前防災とは～自助・共助・公助～。・自宅避難のススメ。
- ・具体的な家具転倒防止の実践事例。



◆ 建物と家具転倒防止器具について

建物につきましては、建築基準法や耐震法等の改正により、地震に強い建物になりましたが家の中の収容物のタンス・食器棚・テレビ等の家具類につきましては転倒防止や移動についての対策を取っている家庭や事業所において取られていないのが現状である。

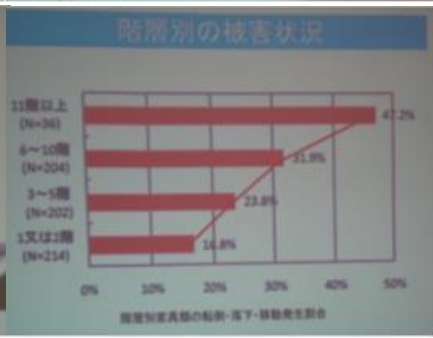
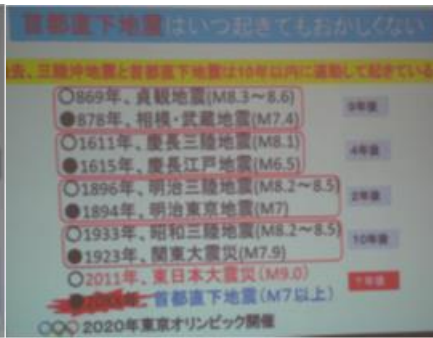
我が家は大丈夫であろう、地震なんか来ないというような考えをもっている人が多くおり家具転倒防止対策が進まない理由ではないかと分析しているようです。

阪神・淡路大震災において亡くなられた方は6,978名でそのうちの80パーセントの原因が建物の倒壊・家具等の下敷きが原因であるといわれています。

◆ 高層建築物と家具・什器物との関係について

高層建築ビル等におけるスロッシング現象について、スロッシング現象とは、高層建物における左右に大きく揺れる現象です。建物を柔構造にして地震による力を逃す構造から高層になればなるほど、この現象を受けることになる。

その影響を受けて固定されていない机、テーブル、家具調度品等が室内を縦横無尽に動き大変な被害が発生することになる



◆今後の取り組みについて

防災に関する書籍が出版され、また防災グッズ等、家具転倒防止器具などについても沢山の種類の物が開発され、取り付けも簡単で貴重な家具や建物に傷を付けたりしない器具が開発されている。今危惧されている南海トラフ、首都直下型地震が30年以内に90%の確率で発生すると言われていている現状を考え「家具転倒防止器具」の設置は待ったなしの時期に来ていることを考え、自助・共助の精神を持って行動することが、地震等による被害を減らす減災の基本だと考えています。

文責: 今井 淳(支部長)